

# 数 専 会 だ よ り

発行人 東京女子大学同窓会数専会会長 平澤眞理子  
〒167-0041 東京都杉並区善福寺 2-23-11  
Tel. 03-3395-4448 Fax. 03-3395-0084  
<https://twcumath.sakura.ne.jp>

## 【 総会報告 】

日時 2024 年 6 月 22 日 (土)

於 72 年館 1 階ラウンジ

### 総会議事

1. 会長挨拶
2. 2023 年度 活動報告
3. 2023 年度 決算報告
4. 会計監査報告
5. 2024 年度 予算案
6. 2024 年度 活動計画
7. 個人情報の取扱いについて
8. 研究部講座報告
9. 数専会へのご意見等
10. 役員交代について
11. 今期の役員紹介
12. その他

議事は原案どおり全て承認されました。

#### 2. ～5. 参照 6 ページ

- ・ご意見：終身会費（卒業時に 1 回のみ納入）の納入者が少ない。
- ・回 答：4 年生への数専会説明会、終身会費徴収方法について説明。納入者を増やす工夫を継続検討。

6. (1)「春のお知らせ」は、今年からメール配信に変更。
- (2)園遊会バザー 参照 8 ページ
- (3)研修会報告 参照 2-3 ページ
- (4)石井先生お祝いの会開催を告知。
- (5)今後は講演会、トーク会などの行事を企画し、開催時期も検討。

#### 7. 個人情報の取扱いについて

個人情報については従来から扱う役員を限定するなど細心の注意を払ってきました。2020 年コロナ禍で 72 年館が休館となり、数専会だよりの発送を同窓会が委託していた業者に依頼しました。郵送料も安く済むことが分かり、それ以降業者に委託しています。

こういったことから、今年 4 月に個人情報の取扱いを明文化しました。全文はホームページに掲載しています。また、業者とは業務委託契約書、秘密保持契約書を取り交わしています。

#### 8. 研究部講座報告 参照 7 ページ

#### 9. 数専会へのご意見等

基金は 2003 年に一般会計とは別建てとし、管理してきています。研修会、講演会の費用等に使っていますが、まとまった金額が毎年繰り越されてきています。物価上昇の昨今、このままで良いか、何か有効な使途がないか皆様からのご意見を伺ってみました。

数理科学科の学生のために使うのがいいのではないかとというご意見が多く出されました。図書、あるいは電子書籍にという案も出されました。幹事会でもこれからよく話し合います。皆様からのご意見もお待ちしています。

#### 10. 役員交代について

新副会長 打越 和枝 (78)  
新常任幹事 神保 敦子 (76)  
山室 智子 (90)

次の方々が退任されました。

副会長 前田 啓子 (75)  
常任幹事 渡邊 朋子 (78)

長い間ご尽力くださり  
ありがとうございました。

#### 11. 2024 年度役員

会 長 平澤 眞理子 (77)  
副会長 内海 香織 (78)  
打越 和枝 (78)  
常任幹事 青柳 陽子 (76)  
明田 正子 (76)  
蓬田 典子 (76)  
神保 敦子 (76)  
岩崎 えり子 (78)  
萬木 眞理子 (81)  
高橋 貴子 (81)  
田島 貴美子 (89)  
山室 智子 (90)  
宮本 美和 (91)  
会計監査 松本 友子 (73)  
大島 治美 (77)

各役割担当はホームページをご覧ください。

## 【 ごあいさつ 】

会長 平澤 眞理子 (77)

2023 年度は コロナの 5 類移行などにより、用心しながら元の活動に戻してきました。

4 年ぶりの園遊会バザーでは、いつもここでなかっていて楽しみにしていた、と言われたことが印象深く残っています。新たな試みも行いました。トーク会です。以前から一度職を辞した後、教職に就きたいという会員の人が多いと感じていましたので、そういう方々へのサポートあるいは教職に就いている方々の情報共有ができればいいのではないかと企画しました。当日は教職が決まった学生の参加もあり、また、長年教職を務めた方々からこれは後輩に伝えたいとの思いが伝わる熱気あふれた会になりました。

これからも縦のつながりが生きる会を作っていきたいと考えています。

## 【 石井志保子先生 お祝いの会 】

2024 年春の叙勲におきまして、東京女子大学特任教授でもいらっしゃいました石井志保子先生が瑞宝中綬章を受章なさいました。日頃より数専会へのご協力、お力添えを頂いております先生の慶事を受け、数専会ではささやかではございますが、お祝いの会を開きたいと思います。

- ・日時 2024 年 11 月 21 日 (木) 13:30～15:30
- ・場所 72 年館 1 階ラウンジ
- ・詳細 10 月上旬配信の数専会お知らせメールに掲載
- ・締切 11 月 9 日 (土)

お申し込み・お問合せはメールでお願い致します。  
その際はお名前、卒年、電話番号をお知らせください。  
メール: [contact@twcumath.sakura.ne.jp](mailto:contact@twcumath.sakura.ne.jp)

平澤眞理子 (77) 内海香織 (78)

## 【 研 修 会 】

日 時：2024年6月8日（土）13:30～15:30

会 場：72年館（同窓会）1階ラウンジ

演 題：『あの有名な定理でわくわく！』

講 師：会森 敦子氏(81年卒) 「いきいき数学教室」主催、日本数学教育学会会員



## 演 題：『あの有名な定理でわくわく！』

「算数・数学にふれてわくわくしましょう」の思いで開校した「いきいき数学教室」のこれまでの活動を通して、以下の内容で研修会を進めました。

- ・生涯学習における当教室の位置づけ
- ・わくわくできる講座作り

その後、実際の授業を体験していただき、ご参加の方々とわくわくするひとときを過ごしました。

## ☆ウォーミングアップ

本題に入る前に、最初に折り紙で席札作りを行いました。



実際に実物を見て、折り方を考えて作っていくという取り組みです。「どうなっているのかしら」と興味津々な面持ちのご参加の方々——ここが学びの最初の動機付けとして大切な時間です。数学的な見方を通して日常生活の中にある物を見てみると、これまで気がつかなかった世界が広がります。面で囲まれている多面体であれば、1つの頂点にいくつの面が集まっているのか、また一つひとつの面はどのような形になっているのか、という見方です。それらの気づきを感じながら、近くの席の方と一緒に問題解決に向けて考えました。折り紙を使って立体を作るという面白さと達成感を味わいました。

## 1. いきいき数学教室の活動を通して

- ・生涯学習における当教室の位置づけ

生涯学習という言葉は1965年のユネスコに起源があるとされています（上杉 孝實 UEA ジャーナル第1号、2011年8月号、p.1）。

その後日本では、1981年に中央教育審議会答申で取り上げられ(図1)、2022年第11期中央教育審議会生涯学習分科会(図2)においても図2に書かれている「役割」については、授業を進める際に常に実践しているものであり、また「ウェルビーイングの実現」においては、学習のひとつの分野として算数・数学の学びがあると考え、当教室が生涯学習の中に位置するものと考えられます。今回検証したことにより、当教室での学びは生涯学習の中でこれから先、必要とされるであろうという思いを新たにしました。

- ・わくわくできる講座作り

様々な対象に向けた講座での授業内容を考えるにあたり、受講者がどの授業に満足しているのかを知るためにアンケート調査を行いました(図3)。その結果、受講者全員が「満足」と回答した授業が5つありました。それらが数学の学びのどの領域に入るのかを考察したところ、図形領域を多く含んでいることがわかりました(図4)。さらに、小学校算数科の内容を5つの領域で示した図5の中では、点線で囲んだ部分に位置づけることができました。

人々は、自己の充実・啓発や生活の向上のため、適切かつ豊かな学習の機会を求めている。これらの学習は、各人が自発的意志に基づいて行うことを基本とするものであり、(中略)生涯を通じて行うものである。その意味では、これを生涯学習と呼ぶのがふさわしい。  
(中央教育審議会答申, 1981)

図1

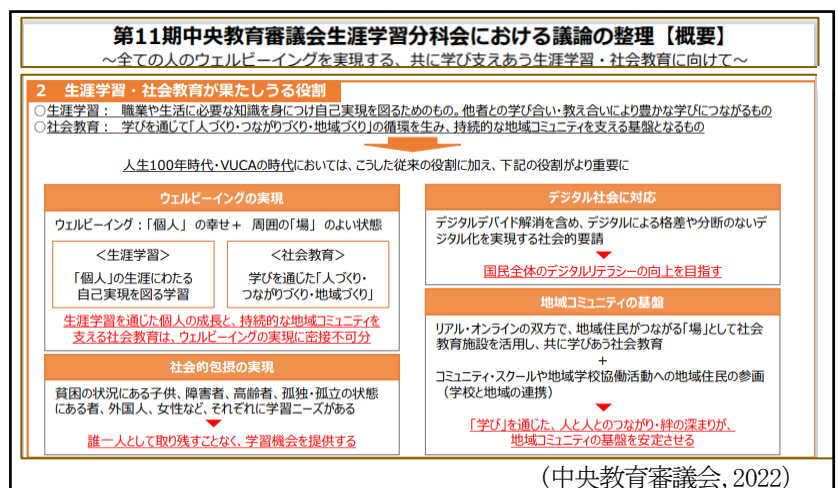


図2

- ・約3年間(36回)の授業についての調査  
(1年ごとに、アンケート調査を行った)
  - ・アンケート回答者：50代から70代
  - ・毎回、約10名
  - ・満足度を5段階で点数化し、各回の平均を求めた
- |      |        |       |        |      |
|------|--------|-------|--------|------|
| 満足:5 | ほぼ満足:4 | ふつう:3 | やや不満:2 | 不満:1 |
|------|--------|-------|--------|------|

図3

受講者全員が「満足」と回答した授業

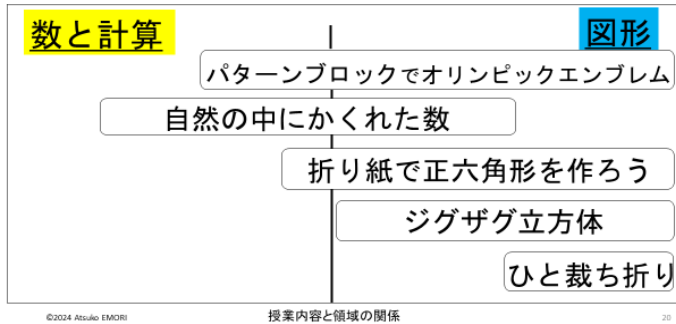


図4

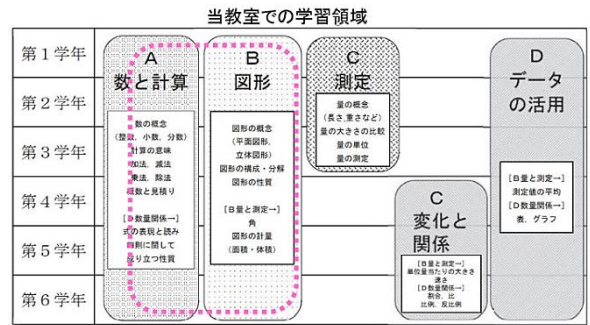


図5

文部科学省(2017) 小学校学習指導要領解説 算数編 より引用

アンケート結果を踏まえ、わくわくできる講座作りが満たす事柄を教材(図6)と授業の到達点(図7)という2つの観点でまとめました。

1. 教材(授業内容)

- ・手を動かしながら問題解決ができ、答えを導き出すことができる
- ・思考過程が目に見える
- ・手を動かして試してみることができる
- ・間違いを他からの指摘ではなく、自分で気がつくことができる

・その時々話題をテーマとして扱う

- ・作品として残る
- ・教材を持ち帰り、帰宅後、他の人にも話したくなる
- ・創造的な活動がうまれる教材

➡ 新たな問いが生まれ、それを解決しようと自ら思考してみるようになる

図6

2. 授業の到達点

どこまで、話し(学び)を深めるか、授業をしながら見極める

事前の教材研究が大切!

この内容でわくわくするかな?

どこまで深めようかな?

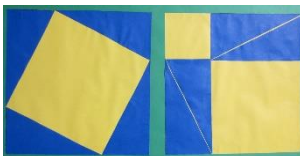
図7

2. 2つの授業を体験

(1) 何の定理がかくれていますか

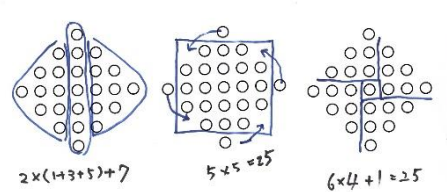
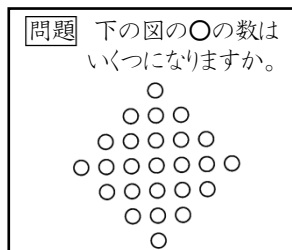


三平方の定理が見えますか



合同な青い直角三角形を貼っていくと・・・

(2) どのように考えたのかな



参加者の方の考え方より

各自が答えを求めることで終わらず、式を読むということで、式からお互いの考え方を理解する時間を過ごしました。また答えの求め方がひとつではないので、時を忘れて考えました。

(会森先生に研修会要旨をまとめていただきました)

受講者の感想(抜粋)

- ・数学の面白さを改めて実感することができた。前半の幾何(折紙)、後半の代数分野(式を読む)のどちらも楽しかった。
- ・先生が見える化(視覚化)してくださり、納得することで心からわくわくすることができました。
- ・三平方の定理を実際に三角形で示すことがとても楽しかったです。
- ・ハンズオンマスがよくわかりました。
- ・年代を超えて数学についてたのしくわくわくしながら学びました。
- ・内容も時間も丁度よく、本当に楽しい時間をすごすことができました。
- ・一つのことをたくさんの人と話しながらかえる機会はなかなかなかったので楽しかったです。
- ・一つの物事をいろいろな見方でみることをこれからも心がけていきたいと思いました。



今後の研修会についてのご意見・ご要望をメールでお寄せください。(研究部)

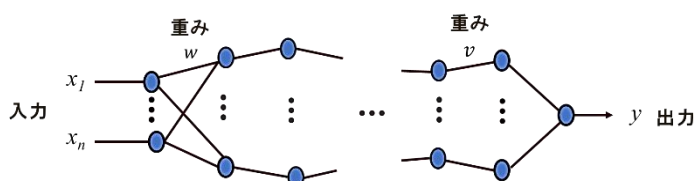


## 高次元ニューラルネットワークについて

東京女子大学 現代教養学部 数理科学科 教授 新田 徹

歴史と伝統のある学科の末席を汚すことになり身の引き締まる思いで 2023 年 4 月に着任した新田徹と申します。前職の大学では社会人学生が約半分で大半が男性であったのに対して、本学ではほぼほぼ一般学生で女性のみと、がらりと環境が変わりました。授業のスタイルもスライドから板書を使ったものへと変化し、私自身も変化を迫られ、人生何が起こるか分からない、生き残るのはアインシュタインではなくダーウィンとを感じる昨今です。専門は機械学習です。機械学習は AI（人工知能）の一分野で、コンピュータの学習機能が研究対象です。いかにしてコンピュータに学習ができるようにさせられるかを目的としていて、20 世紀中頃から始まった比較的若い研究分野です。大学を卒業して以来、産官学の組織に所属して AI の研究に従事してきました。本学で 4 つ目の組織になります。機械学習のモデルは数学で作られていて、仕組みを支える数理的側面と実際に動かすための実装的側面（プログラミング）の両面がありますが、私は主に数理的側面からのアプローチを好んで取っています。機械学習において使う数学は、微分積分、線形代数、確率論、統計学が基本ですが、研究の局面では、複素解析、微分幾何、トポロジー、抽象代数、確率微分方程式、量子力学などが登場する論文を目にすることもあります。GAFAMと言われる巨大テック企業の研究所では数学や理論物理の PhD を持った人が数多く採用されているとも聞きます。

さて、私は機械学習の中でも特にニューラルネットワーク、とりわけ高次元ニューラルネットワークを研究対象としています。ニューラルネットワークは、人間の脳の神経細胞の働きを数学的にモデル化したものです。1943 年にアメリカの外科医と数学者によって発表されたモデルから始まり、その後、紆余曲折を経ながら、長い間いろんな方向から研究されてきました。今話題の ChatGPT や Gemini, Sora といった生成系 AI の内部では、ニューラルネットワークが動いています。



図はニューラルネットワークの模式図です。いくつかの層があり、それぞれの層の中の○が線でつながった構

造をとっています。この○のことをニューロン、線のことをシナプスと呼びます。ニューロンは1つの多変数関数です。ニューロン間を繋ぐ各シナプスには「重み」と呼ばれる変数（パラメータ）が与えられています。入力された数値は、重みによって変化しながら、次の層



に運ばれ、最終的に出力されます。1つのニューロンは非常に単純な計算しかしませんが、それらを大量に繋げて動かすことによって高度な学習が可能になります。たとえば、生成系 AI はそのパラメータ数が多いもので数千億個にも上るほど巨大になっています。

そんな中、私はニューラルネットワークへの入力、出力、重みがすべて複素数であるようなタイプの複素ニューラルネットワークを研究しています。通常のニューラルネットワークが扱うデータは実数値ですが、複素データを扱えるようにしたものが複素ニューラルネットワークです。さらに、四元数やそれ以上の次元の超複素数を扱うことのできるニューラルネットワークも含めて、高次元ニューラルネットワークと呼び、研究しています。たとえば、一般にニューラルネットワークにはパラメータの冗長性と言われるものが存在します。ニューロンのある同じ出力値を実現するパラメータの値は複数個存在して、それをパラメータの冗長性と呼んでいます。それは有限群で表現されますが、複素ニューラルネットワークについて調べてみたところ、その位数は実数タイプのニューラルネットワークの  $2^n$  倍になることが分かりました ( $n$  はニューロン数)。つまり、ニューロン数に応じて冗長性は急激に大きくなります。この結果は学習性能などを調べる際の基礎になっています。

ニューラルネットワークに適用される学習アルゴリズムの一つであるディープラーニングには未だ多くの謎が残されています。それらを少しでも解き明かすことができればと楽しみは尽きません。

## パートナーと共に構築するキャリア形成

中釜美香税理士事務所代表 中釜美香（2005）

2005年に東京女子大学を卒業し、2024年で43歳を迎えます。税理士という職業を知ったのは就職してからでした。そこから今日まで、自分ひとりの力では資格取得、事務所開設まで辿り着けなかったと思います。

今回は、結婚し育児をしながらでも、キャリア構築をストップせず ゆっくりと歩むことができた私の経験を、この場をお借りして記事にさせていただきます。

在学中は、数学を自分の未来にどう活かしたらよいか分からないまま就職活動をし、その中でも答えが出ないまま地方公務員の行政職に就きました。漠然と、「一生仕事はしたい」「数字と法律に触れていたい」「誰かの役に立っている実感が欲しい」という想いを抱えて、公務員であればそれが実現できるのではないかと、という考えでした。公務員となって間もなく、その頃ミュージシャンとして音楽活動もしていた彼（現在の夫）との付き合いが始まり、私たちのキャリア形成がスタートしました。私たちは、それぞれ実りある人生を送るために、精一杯よい仕事をしよう、そのために助け合おう、と話し合いました。

#### 1. 夫が公認会計士に

彼が公認会計士を目指しました。私はその目標達成まで彼をサポートし、私自身も税理士を目指して試験勉強を始めました。彼が無事合格し、監査法人への転職が決まると、結婚し、次のステージへ進むことにしました。この時点で私は税理士科目2科目に合格していました。

#### 2. 私が会計・税務の業界に

彼の収入が安定した中で、私が転職を決めました。公務員時代に比べると、未経験者の税理士事務所での年収はかなり減少しましたが、彼のサポートのおかげで、一歩踏み出せました。よい上司と出会い、明確に「税理士になり開業する」という目標を持ち、働きながら3科目目の税理士試験に合格しました。

#### 3. 夫がニューヨーク勤務を実現

ニューヨークでグローバルチームのマネジメントをする、という挑戦です。もともと英語は得意な人でしたが、現地でネイティブのスタッフをまとめるのは大変苦労していました。彼が悔いなく限られた時間を使えるように、私は仕事を週4日のパートタイムにし、家事サポートをしながら現地の会計事務所でも米国の会計税務の経験を積み、英語の勉強をしました。私たちにとって大変な日々でしたが、正味3年間は、現在の事務所経営にも直結する特別な経験となりました。

#### 4. 帰国後、私が税理士登録、開業

帰国後、私は国際会計事務所に勤務しながら、残りの税理士試験勉強に励み合格、2020年に税理士登録しました。この頃彼は、公認会計士として独立開業のための準備を進めていましたが、私の税理士登録をきっかけに、まずは私が開業することの背中を押してくれ、2021年に私



が個人の税理士事務所を開業しました。収入はゼロからのスタートでした。彼のサポートがあり、1年間で安定した事務所経営ができるまでに成長できました。また開業して間もなく出産もし、育児と仕事の両立も実現できました。彼の存在なくして、今の私はありません。

#### 5. 彼が公認会計士事務所を開設

2024年8月、彼は長年勤めた監査法人を退職し、個人の公認会計士事務所を開設します。同時に、私の個人事務所を法人化し、共同代表として税理士法人の代表社員となります。今度は彼がゼロからのスタートし私がサポートする番が来ます。

ここまでの、これまでの約20年間の私たちの略歴となります。共に生きていくことを決めてから、目の前にある目標を一つ一つ達成することに専念できたのは、お互いの尊重と経済的、精神的な助け合いがあったからこそ、と思っています。

学生時代から自分の進む道を定め、真っ直ぐ進む方も多いと思います。ただ、このように社会に出てから、ゆっくりではありますが、パートナーと共に互いにサポートし合いながらキャリア形成していく道も、一つの形であると感じています。

資格取得に固執して、子供を授けられないのではないかと長い間悩んだりもしました。2人で生きていくことも覚悟しました。精神的につらい時期も、一人でなかったことにより支えられ、努力することを継続できたと思います。

このように振り返るきっかけを作ってくださった数専会の皆様に感謝申し上げます。また、このような充実した人生を共に過ごしてくれる夫に改めて感謝したいと思います。この先10年20年、次の目標に向かって精進して参ろうと思います。

(2024年7月)

## 石井志保子先生 瑞宝中綬章を受章

石井志保子先生（東京大学名誉教授・東京工業大学名誉教授）が、令和6年春の叙勲において瑞宝中綬章を受章されました。2021年の恩賜賞・日本学士院賞受賞に続く栄誉となります。先生は1973年に東京女子大学数理学科をご卒業されました。本学の特任教授も務められ、数専会では研修会講師、会誌ご執筆など多大なるご貢献を賜っています。この度のご受章を心よりお祝い申し上げますとともに、今後の益々のご活躍をお祈り申し上げます。

## — お祝い —

このたびは、春の叙勲において瑞宝中綬章の栄に浴され、心よりお慶び申し上げます。誠におめでとうございます。ご研究だけではなく、多方面に御貢献され、素晴らしいことと誇らしく思っております。長年に亘る卓絶された御功績にたいし天皇陛下の御名において国より授与され、御栄誉の極みです。苦難の道を軽やかに歩まれお優しい御心とあいまって、そのお人柄を数専会会員一同敬愛してやみません。東京女子大学に在任された数年間は時々お会いでき、とても嬉しい事でした。女子大のため、数専会のためにも、御尽力賜り感謝しております。有難うございました。

『女子大学で学んだこと、またその40年後に女子大学で教鞭を取らせていただいたこと、いずれも私の人生にとって、大きな宝物になりました。色々な所で頂いた宝物が積み重なって私をここまで導いてくださったと思っております。』と話される石井先生、これからも素敵な雰囲気のまま、沢山の方々をお導きくださいますよう、そして益々のご健勝とご多幸をお祈りいたします。数専会から慎んでお祝い申し上げます。（数専会 前会長 今北信子）

- ・研究分野：代数幾何学
- ・研究テーマ：代数多様体の特異点
- ・研究概要
  - (1) 代数多様体の特異点の分類と変形
  - (2) 特異点の弧空間の構造, Nash 問題
  - (3) 弧空間の双有理幾何学への応用

- ・受賞
  - 猿橋賞（1995年）
  - 高岡市民文化賞（1996年）
  - 日本数学会代数学賞（2011年）
  - 恩賜賞・日本学士院賞（2021年）

女性研究者支援活動にもご尽力され、ロールモデルとして学生、研究者に大きな影響をお与えになっています。

エンパワーメントセンター  
卒業生 101 のストーリー



## 決 算 及 び 予 算

2023年度の決算を上記のとおり報告いたします

精査の結果、相違ないことを認めます

2024年5月10日

会 長 平澤 眞理子

会 計 青柳 陽子 明田 正子

会計監査 大島 治美 松本 友子



## 勉強会案内

| 勉強会名称 |                     | テキスト                                                                    | 日時                              | 場所                        | 会費         | 世話人                   |
|-------|---------------------|-------------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------------------------|------------|-----------------------|
| ゼミ    | 杉山ゼミ<br>杉山真澄(69)    | 先生作成のプリント                                                               | 第4火曜日<br>10:30～12:00<br>除 8,12月 | 72年館                      | 2500円/月    | 今北信子(75)              |
|       | 数楽・浦和ゼミ<br>茶園幸子(69) | 特になし                                                                    | 第1木曜日<br>13:30～16:00            | 浦和駅前パルコ9F<br>市民活動サポートセンター | 500円/回     | 田島貴美子(89)             |
| 高校数学  | 数楽・武蔵野ゼミ            | ①大学入試攻略 数学問題集2022年版(河合出版)<br>②中学への算数 ステップアップ演習(東京出版)<br>①②どちらかのための参加も可能 | 第2,4木曜日<br>10:00～12:00          | 武蔵野公会堂                    | 2000円程度/学期 | 可兒恵子(76)              |
|       | 吉祥寺ゼミ               | クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B受験編(数研出版)                                                | 月2回金曜日<br>10:30～12:00           | 武蔵野商工会議所                  | 500円程度/月   | 富樫照子(62)<br>大井美智子(74) |
| パソコン  | 多面体<br>荒木純子(75)     | 多面体の模型(日本語版 教育出版)                                                       | 第4水曜日<br>13:30～<br>除 4,8,12月    | 72年館                      | 3000円程度/年  | 今北信子(75)              |
|       | スマホアプリ<br>荒木純子(75)  | 日経BP<br>「SCRATCHで楽しく学ぶアート＆サイエンス」第2版                                     | 第2木曜日<br>13:30～                 | 72年館 2F 研修室               | 3000円/学期   | 山田洋子(66)              |
| 自主ゼミ  | 柚子の会                | 未定                                                                      | 第3火曜日<br>10:30～12:00            | 72年館 or ZOOM              | なし         | 早川希尹子(67)             |
|       | プラムパソコン<br>荒木純子(75) | プリント(Word 2010)                                                         | 第1,3木曜日<br>10:00～12:00          | 72年館                      | 1000円      | 高林厚子(61)              |

2024年4月1日現在

上記勉強会へ参加ご希望の方は、随時受け付けておりますので、メールで研究部までご連絡ください。(研究部)

## &lt;維持運営費納入のお願い&gt;

2024年度の予算が総会にて左記のとおり承認されました。

維持運営費、終身会費のご協力をお願いいたします。維持運営費(1000円/年)は、隔年に2000円の納入をお願いしています。終身会費(1000円/卒業時1回)も、卒業生全員に納めていただく会費です。

昨年お支払いいただいていない方には払込票を同封しています。また1972年以前にご卒業の皆様にはご寄付をお願いしております。

なお払込手数料はご負担くださいますようお願いいたします。

(会計)

## &lt;維持運営費納入状況&gt;

昨年数専会だよりと一緒に2370名の方に維持運営費払込票を同封いたしました。そのうち258名の方から納めていただきましたが、発送以前納入の30名を入れても総数288名と12%程度の納入となっています。

一般会計が厳しい状況であることは昨年の数専会だよりにも書きました。改善のための一番大きな課題は維持運営費納入会員を増やすことかと考えています。皆様のご協力をよろしくお願いします。

## &lt;求人のお知らせ&gt;

数専会ホームページには、求人のお知らせを掲載しています。どうぞ、ご活用ください。(厚生)

## &lt;住所変更・改姓のご連絡&gt;

住所等に変更がございましたときは、同窓会・数専会の両方にお知らせください。数専会への連絡は、ホームページから、またはメールやはがきでお願いいたします。

クラス会開催等で名簿が必要なときは、ご連絡ください。(庶務)

## &lt;数専会お知らせメールの登録&gt;

数専会は、年に3、4回イベント等活動内容をメール配信しています。

会員皆様はメールアドレスをご登録くださいますようお願い致します。詳細はホームページのアドレス登録ページをご覧ください。

クラス幹事の皆様は、総会の連絡など重要なお知らせがありますので必ずご登録をお願い致します。

(WEB)



2024年度役員

数専会ホームページ

<https://twcumath.sakura.ne.jp>

数専会メール

[contact@twcumath.sakura.ne.jp](mailto:contact@twcumath.sakura.ne.jp)

数専会 HP



お問い合わせ



アドレス登録

## 地域活動のススメ

神奈川県在住 田辺 由美子 (73)

### ◆想いをカタチに

地域で活動をしていると、地域のことを知りたい、活動を始めたい、仲間を増やしたいなど様々な出会いがある。現在理事長として活動している NPO 法人くみんネットワークとつかでは、そのような方々の想いが具体的に実現することを応援している。福祉・まちづくり・文化・環境・国際交流など様々な分野の情報を集め、やりたいことが見つかる、団体を立ち上げる、団体につながるなど一歩踏み出す機会を作っている。

### ◆活動内容

法人は横浜市初の行政との協働により 2009 年から「とつか区民活動センター」を運営している。活動相談や情報の受発信、ネットワーク構築、スキルアップ講座の開催などを通して市民活動を応援する中間支援組織である。また地域のコミュニティスペース創出を目指し、行政と企業との連携により計画された「ふらっとステーション・とつか」を 2014 年から、さらに連携 2 事例目として「交流広場とつか」を 2018 年から運営している。だれでも気軽に利用できる

場、人と人がつながる場を目指す地域の居場所である。

### ◆数専会へ感謝

半世紀前の就職は大学の厚生課掲示板の求人票を見て、履歴書を送り試験を受けるという流れだった。日本銀行の女子の大学生初の募集、システム開発の仕事という求人票を見て応募し入行した。男女差は当然のようにあったが、周囲の理解もあり楽しい職場だった。

退職後数理学科の先輩から声をかけられ、会社を作り在宅でパソコンのシステム開発の仕事始めた。春と秋のデータショーやビジネスショーで新しい知識を仕入れた。

インターネットの時代に入り、数専会から東京大学地震研究所でのシステム開発の仕事を紹介された。ここではインターネットの基本を学ぶことができた。仕事の節目は大学や数専会からの紹介だったことを改めて思い、感謝の気持ちである。

### ◆きっかけ

地震研退職後、横浜市広報紙の「パソコン講座の受講生と講師募集」という記事に目が留まり、早速問い合

わせ、パソコングループの立ち上げに関わった。グループの代表になり活動していたころ、横浜市戸塚区に設置するとつか区民活動センターの運営について検討する委員会に加わってほしいとの依頼が区からあった。ここに関わったことが現在の NPO 法人の立ち上げにつながる。

### ◆つながりづくり

3つの拠点は活動者や活動団体、行政、大学、自治会、商店会など地域の関係機関との連携に努めている。点と点を結び線へ、線から面へとつながりづくりを重ねることで、小さなつながりが広がり、輪が大きくなる。地域活動では学校や仕事先では出会わなかった人との出会いがたくさんある。一見怖そうに見えた人が実は一生懸命地域に尽くしていたり、自身の課題を見える化し同じように悩む人と解決に向けて活動したりと様々である。アンテナをたくさん張ると新しい出会いがあり今まで築いたネットワークにまたひとつつながりができる。地域活動にはこのような魅力がある。是非、みなさまも地域に目を向けてみませんか！

## 園遊会バザー

4月29日(月)園遊会で、数専会バザーを開催いたしました。美しい新緑のなか、大勢の方にお立ち寄りいただき、たくさんの品物をお買い求め頂きました。今回は1986年卒業の方にお手伝いいただきました。そのために広島から上京してくださった立川淑恵様より以下の感想を頂きました。

『この度はお世話になりました。私は寮生でしたので、同期の方々と交流が少なく、お会いしても顔を覚えてくださっているだろうかと不安で参加を躊躇しましたが、思い切って上京して本当によかったと思います。女子大生気分に戻って楽しく特別な時間を過ごせました。このような機会を設けてくださりまして、心より感謝申し上げます。』

我々幹事も、この場が旧交を温める機会になったことを嬉しく思いました。バザー品をご寄付くださった皆様に厚くお礼申し上げます。来年も皆様のご協力をお願い致します。



【ご寄付に感謝】 会員の皆様から 163,200 円のご寄付を賜りました。ありがとうございました。

【訃報】 謹んでご冥福をお祈りいたします。

東京女子大学名誉教授 篠原 昌彦先生 2023 年 10 月 10 日ご逝去 享年 79 歳

### 一編集後記一

数専会だよりの感想、数専会へのご要望、ご意見をお寄せください。会員の皆様の充実した活動を少しでもご紹介できましたら幸いです。更に多くの方々のご参加をお待ちしております。

寄付のお願い … ゆうちょ銀行 振替口座〈加入者名〉東京女子大学同窓会数専会〈口座記号番号〉\*\*\*\*\*

会長 平澤真理子 \*\*\*\*\*